

さらに

川崎市では「探究的な学び」を充実させます

～かわさき探究2.0を推進～

川崎市では、「総合的な学習(探究)の時間」を中心に、子ども主体の「探究的な学び」を、学校と地域が一緒になって進めていくことで、子どもたちの資質・能力を高めます。

探究的な学びとは？

子どもの興味・関心や問題意識に基づいて課題を設定し、課題の解決に向けて試行錯誤しながら学ぶ学習のプロセスです。



探検犬「たんまる」

なぜ必要なの？

変化の激しい時代において、自らの人生を舵取りしていくためには、「自分で考え、解決していく」学びを通して、主体的に課題解決に取り組み、他者と協働しながら、新たな価値を創造する力を育む必要があります。

こんな力が身につくと考えられます！

自分で考える力や、コミュニケーション力、課題発見・解決力や主体性が身につくほか、学力との関係性も…！

詳しくは裏面を参照→

⑤ 新たな課題設定



〇〇川の環境保全のために自分たちにできることはないかな？



② 情報の収集

集めた情報から〇〇川の抱える問題が見えてきたよ



③ 整理・分析



自分たちの取組を、地域の人たちに知ってもらおう！

⑥ 行動・実践

Start



川崎の北側を流れる〇〇川ってどんな川？

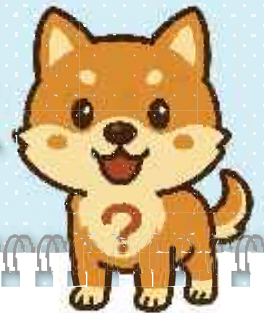
① 課題の設定



④ まとめ・表現

〇〇川の自然を保つためには、〇〇〇〇が必要だね。

地域のために行動するきっかけになるワン



探究的な学習を連続・発展的にくり返し、「自分で考え、解決していく力」を身に付ける！

かわさき探究2.0の特徴はこれ！

✓ 地域資源を積極的に活用します！

子どもたちが地域・社会の一員として行動していけるように、地域の魅力や課題から学習テーマを設定し、地域資源を積極的に活用した学習を展開します。



✓ まとまった時間を確保！

学年ごとに探究に取り組む日を設けるなど、まとまった時間を確保することで、取材活動や体験活動、地域の人との協働作業など、探究的な学習を効果的に行えるようにします。



✓ 小中9年間の学びをつなぎます！

地域の小中学校で情報共有を行い、授業づくりを生かすことで、学びを深めていきます。



✓ 地域と学習の内容を共有！

“ともに学びに関わり、ともに課題の解決に向かう”関係となることをめざして、保護者や地域に発信していきます。



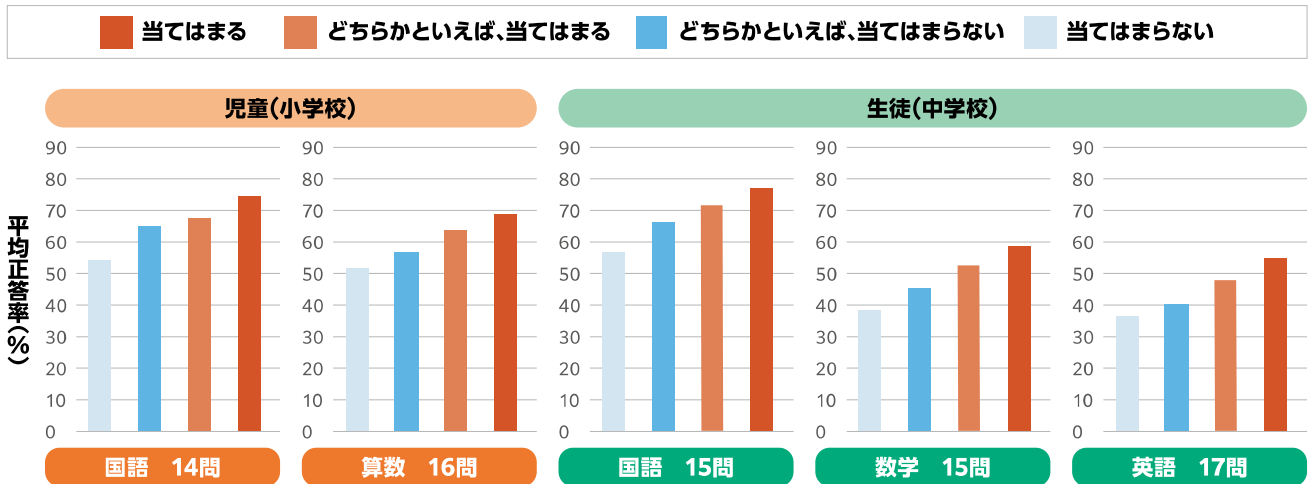
探究2.0は令和8年度からモデル校で実践！令和10年度から全市に展開していきます！

探究的な学びと、 学力調査との関係は…

文部科学省の「全国学力・学習状況調査」では、**探究的な学びの取組状況と教科に関する調査の平均正答率との間に、相関関係がある**ことが示されています。

「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査の質問

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」と、教科に関する調査の平均正答率(%)の関係



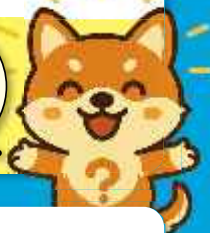
国立教育政策研究所「令和5年度 全国学力・学習状況調査 調査結果資料」を加工して作成



探究的な学びに取り組んでいる子どもからはこんな声が!

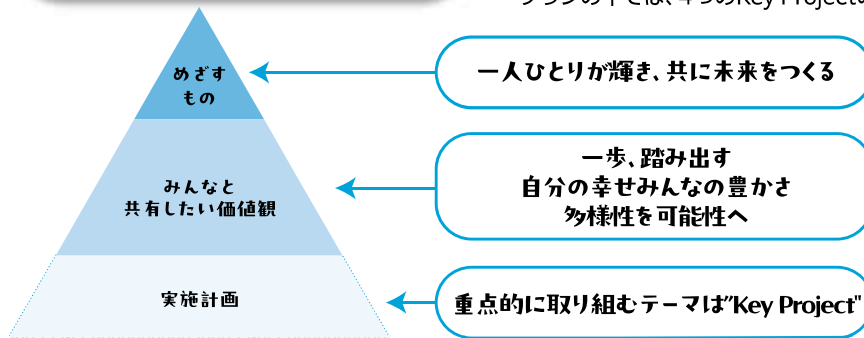
- 自分たちの気になることを追求していくのが楽しかった!
- まずは自分で行動し、調べて、試行錯誤する力がついた!

探究的な学びを進めると、
いいこと
いっぱいだワン



かわさき教育プランが 新しくなりました!

市民一人ひとりが“学びの主演”、“学びの主体”となって、自らの学びを“自分事”として捉え直すことが大切になると考えます。そのため、川崎の教育がめざす方向性を今まで以上に分かりやすく示し、すべての市民と共有しながら取組を進めていきます。プランの中では、4つのKey Projectの1つが「探究的な学び」の推進となっています。



かわさき
教育プラン



かわさき
探究20
(保護者向け)



保護者や地域のみなさまへ 一緒に子どもたちの学びを応援してください!!~

地域のみなさまの知恵や経験は、子どもたちの学びを深める大切な力です。魅力を伝えたり、課題を一緒に考えたりすることで、子どもたちの学びはもっと豊かになります。未来に必要な力を育てるために、ぜひご理解とご協力をお願いします。

たんまる
自己紹介

何でも探究したがる好奇心あふれる柴犬。胸の「？」マークがトレードマーク。

